

☆ほたる祭りの6月2日(土)午後7時〜21時 岐協苑・山田川

配布  
大洞 4-60  
東山 4-53  
北山 38-353  
コア北 5-90  
桜台 23-310  
桜市 40-209  
5棟 2-18  
柏台 31-312  
柏市 26-157  
桐丘 23-186  
桐市 6-32  
紅葉 21-250  
紅市 16-87  
桜2P 1-17  
合計 237-2134

## 新教頭 学校に求められる役割とは

—芥見東小学校教頭・広瀬 満さん

学校に求められる役割には、様々なものがあります。教育課程の実践を軸とした、学力の育成や豊かな心や健やかな体の育成などが求められています。しかし、これらの学校教育の基盤を成すものは、やはり、「子ども達の『命や健康』を守る『安全で安心』な学校づくり」というところからスタートしなければいけないと思っています。学校という場所が、子ども達や保護者の皆様にとって、真に心身共に「安全で安心」な場所でなければ、子ども達の学びの場の保障はできないと思っています。



しかし、子ども達を取り巻く状況は厳しい現状にあり、校外において様々な危険が潜んでおり、いつ、子ども達の安全や安心が害されるかもしれないという状況にあります。そこで、私たち教職員は、常に研修・研鑽を積み、子どもたちの「安全や安心」守っていけるよう努力していきたいと思っています。また、校外においても、交通事故や水際の事故、不審者の事案など、子どもたちの安全を脅かす事案は絶えることがありません。これら校外での「安全や安心」については、学校の力だけでは到底守りきることはできませんので、地域の皆様のお力をお借りすることが多々あることと思います。子ども達の「安全や安心」を守るため、これからも、どうぞ、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。 □■

## まちづくり協議会 新体制での講演会

—芥見東まちづくり協議会

今年度、新たに、地元企業などの参加を得て情報の共有を図り、地域を活性化させることを目指します。

4月28日(土)に、この新体制で、美濃市のホテルで、61人の参加を得て、講演会と協議会を開催しました。



講演会は、初めに柳井妙子氏(奈良女子大学・学術博士)が「元気な地域づくり!!」と題して、各地の代表的な地域づくりの取り組み事例を説明され、特に広島県安芸高田市の「自助・共助で持続可能なまちづくり」に

ついては、先進的な事例として紹介されました。続いて、岐阜市まちづくり景観課の岩田廣幸係長から「大洞緑団地のまちづくり」について、説明がありました。最後に、ぎふスーパーシニア教育コーディネーターの近藤義博氏から、子どもを中心に、地域と学校をつなぐ取り組み状況について説明があり、参加者は、まちづくりについて、今後の活動に役立つ内容となりました。

このあと、各種団体・まちづくり協議会を経て懇談会に移り、参加者による意見交換会をしました。 □■

## 新支部長 趣味の読書で人生を豊かに

—東山支部・松田 美英さん

私は、定年を過ぎ、現在、嘱託社員として出社する毎日です。私の趣味はゴルフと読書です。学生時代から長年のサラリーマン生活を通じ、私が読んできた本は多岐・多数に及びます。最近、社員には伊集院静の「琥珀の夢」を推奨しています。



頭の体操に、東野圭吾の推理小説は、そのほとんどを読みました。直近では、「ラプラスの魔女」を読み、深く感動し、楽しませて貰いました。

さて、生きてゆくには人は誰であっても、夢と希望が必要だと思います。私自身は、それを求める中で、松下幸之助、稲盛和夫他、偉大な経営者達の本を読み進め、サラリーマンとして、人間としての自分自身の成長、社員の成長、会社の発展の為に人生の参考とさせて貰ってきました。「道をひらく」、「京セラ フィロソフィ」等々、一生懸命読みましたが、私の頭の悪さ、努力の足りなさから、まだまだ、自分は発展途上どころか、ヨチヨチ歩きだと思毎日常です。

そんな未熟な私ですが、東山支部長として、今年度活動させて頂きます。連合会の山田会長様はじめ、役員の皆様、東山自治会の皆様にはご迷惑をおかけするかとと思いますが、何事にも真摯に取り組みますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

今年度は、新任の方も多数見えますので、少しは安心しましたが、これから1年間皆さんと一緒にいろいろな行事に参加し、楽しんでいけたらいいと思っています。私も、歴代の自治会長が敷かれたレールの上を、他の新役員の方たちと相談しながら誠意を持って1年間ではありますが、頑張っていきたいと思っています。 □■

☆防災訓練↓6月10日(日)午前8時〜各地区

☆防犯講習会↓6月17日(日)

午後7時〜

東部「ミニコミュニティセンター」

**青少年 「鯉のぼり」が揚がりました**

—青少年育成市民会議事務局長・横山 泰史さん  
今年も、ゴールデンウィークの期間、藍川東中学校の生徒さんの協力を得て、鯉のぼり約70匹を、山田川なかよし橋周辺に揚げる事が出来ました。



鯉のぼりの取り付け方をキチンと教えることができなかったため、揚がった後、偏って泳ぐ姿に反省する次第です。



この時期、この街の風景となる鯉のぼりをいつまでも揚げられたら、と思います。ご自宅やお知り合いの中で、眠っている鯉のぼりがあれば、お譲りしていただけませんか。事務局へご連絡ください。 □ ■



**小旅行 ～旅行雑感～**

—桐が丘支部・TKさん

先日、友人の外国人夫婦と小旅行を二つしてきましたので、その際の取り留めない話を少々します。

高野山にて、行先を聴こうと、黒法衣の女性のお坊さんに「すみません……」と遠慮がちに声掛けしたら、見向きもしないで完全無視されましたが、警戒されたのでしょうか？ このあと友人夫婦は大爆笑でした。

京都にて、有名な寺院や観光スポットは、ここは外国か？ と思えるほど、東洋系や欧米系の外国人でごった返していました。超過密で歩くこともままならない金閣寺や嵐山の竹林の小路、朝早くから東洋人で一杯の伏見稲荷等々。銀閣寺は少し地味なせいか比較的少なく、お寺の雰囲気を感じられて外国人の友人でも大満足の由。祇園の居酒屋でも席は殆ど外国人で埋まるなど、今後日本人の京都旅も綿密な事前調査が必要となるでしょう。

また、今回友人夫婦は、カードのみで現金を一切持たない海外旅行、彼らの“勇氣”と時代の変化に驚愕しました。 □ ■

**絆の会 不思議な「えにし」に感謝**

—芥見東「き・ず・な」の会・HTさん  
みどりっこマーケットにお世話になっているものでございます。毎回、朝早くから会員の為に机等の準備をしてくださるスタッフの方々に先ずはお礼を申し上げます。

私が参加させて頂きましたのは数年前からですが、友人達から「こういう“物入れ”があるから作ってみたら」とか、「海外に行くのにこんな欲しい」と、お客様からの相談も受けつつ前進中です。



今までに、感動したことを、次に書き留めました。

- ・あるマーケットでの仲よし姉妹の会話です。「ねえー、これさあ、変わり番こに使おうか、半分ずつ出し合っさ」に三人で爆笑。
- ・「おかあちゃん、こっちの方が似合うからこっちにしゃー」「あんたがそう言うなら、そうするわ。私は、こっちがいいけど」
- ・車椅子の母親に「この小動物のぬいぐるみの大きい方を子ども、小さい方を孫と思えば、施設内でさみしくないからね。私が買ってあげるから」と娘さん。おかあさんは、うれしそうにならずいてみえました。「子どもも孫もどちらも遠くに住んでいるから」、とのことでした。
- ・県外のNPOの方で、品物は任せるからと、先払いされ後に、賀状まで頂くことになりました。「き・ず・な」に参加させて頂き、不思議な「えにし」を感じており感謝の日々を心掛けたいと思います。 □ ■

**新理事 誇れる校区を未来の子どもへ**

—芥見東自治会連合会理事・後藤 憲次  
芥見東地区にお世話になり四十六年。仕事漬けの日々を重ねて、気がつけば地域密着とは無縁の自分がいました。

そんな中、自治会活動のお話を頂き、はたして自分でお役に立てるのか自問自答しながらも、仕事から離れて一年半。この地でこれまで生かしていただいていた恩返しのため、本当に未熟で微力ですが、できる範囲のお手伝いをさせて頂く所存です。

**新緑のなびく山あり、 ホタルの飛び交う川あり、  
声を掛け合う人情もあり……。**

このように誇れるこの校区を未来の子供達にもつなげていけたらと心から念じています。志の強い地域役員の方々の足を引っ張らない様に、ご指導を願いながら勤めさせて頂きたいと思ひます。 □ ■